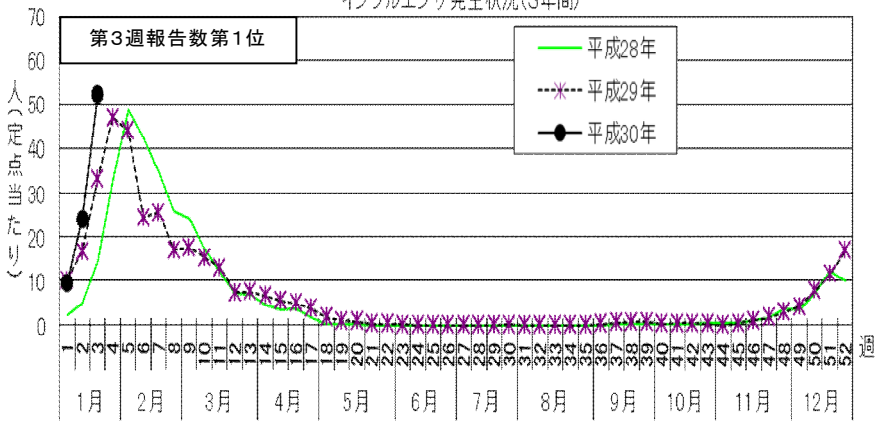
今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

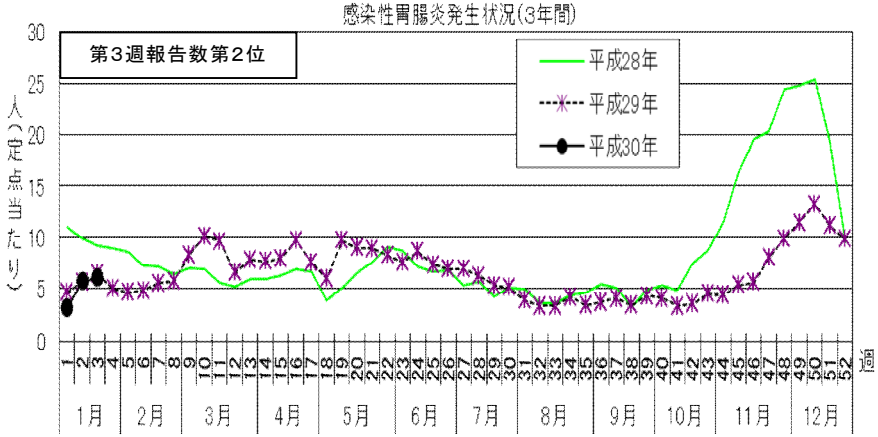
平成３０年１月１５日（月）～平成３０年１月２１日（日）〔平成３０年第３週〕の感染症発生状況

第３週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ　2)感染性胃腸炎　3)Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
インフルエンザの定点当たり患者報告数は５２．１６人と前週（２４．０７人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は６．１１人と前週（５．７６人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は２．６５人と前週（１．５１人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)

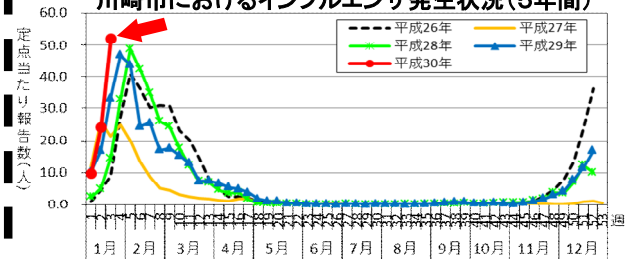


インフルエンザ流行発生警報発令！！

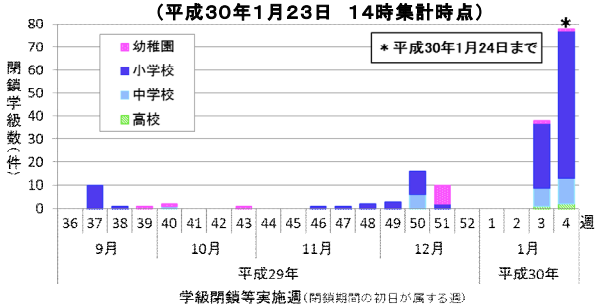
川崎市では、インフルエンザの平成３０年第３週（１月１５日～１月２１日）の定点当たり報告数が５２．１６人となり、流行発生警報基準値（定点当たり３０．００人）を超えたため、市内に流行発生警報を発令しました。

市内における学校等の学級閉鎖数も１２月以降増加しており、インフルエンザにかからない、拡げないためにも手洗いや咳エチケット等の予防対策は重要です。

川崎市におけるインフルエンザ発生状況（5年間）



川崎市内の学校等における学級閉鎖等実施状況
（平成30年1月23日　14時集計時点）



3つの咳エチケット　電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

①マスクを着用する
（口・鼻を覆う）
鼻から顎までを覆い、隙間がないようにつけましょう。

②ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
ティッシュ
使ったらすぐにゴミ箱に捨てましょう。
ハンカチ
使ったらなるべく早く洗いましょう。

①マスクがない時

③袖で口・鼻を覆う
マスクやティッシュ・ハンカチが使えない時は、袖や上着の内側で口・鼻を覆いましょう。

①とっさの時

厚生労働省HP　「進撃の咳エチケット（リーフレット）」から引用

川崎市 KAWASAKI CITY

発行　川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所保健福祉センター
（問い合わせ先）　０４４－２７６－８２５０